

突哨山運営協議会 2019年度 第2回協議会

2019年12月5日(火) 18:00～ 海菜問屋ヤマイチ中村

出席者 出羽寛 黒川博義 塩田惇 舟橋健 桐一郎 澤田勇 寺島一男
森木邦男 工藤和彦 山本牧
以上10名
事務局 中村 富岡

1. 報告事項

①活動報告(主催・共催)

※主催等の表記のないのは「運営協議会」が実施

- ・10月 3日 大雪山山守隊活動見学 愛山溪温泉～当麻乗越(もりねっと)
- ・10月24日 突哨山現地検討会 <参加者 協議会2名 もりねっと3名>
- ・10月27日 突哨山秋の間伐体験～森を元気にするお手伝い～
(もりねっと) <参加者 一般5名 もりねっと3名>
- ・10月28日 山頂看板にメッセージ設置
- ・10月30日 カタクリ広場草刈り(もりねっと)
- ・11月 3日 芋煮会(突哨山と身近な自然を考える会) <参加者 40名>
- ・11月11日 突哨山駐車場トイレ撤去(もりねっと)
- ・11月12日 ゆうちょ銀行通帳の住所および登録印変更完了
- ・11月17日 突哨山ボランティア遊歩道整備(もりねっと)
<参加者 協議会1名 一般5名 もりねっと3名>
- ・11月24日 突哨山樹木調査(もりねっと)
<参加者 協議会2名 一般2名 もりねっと3名>
- ・12月 4日 道道鷹栖東鷹栖比布線意見交換会(比布町)
<参加者 協議会6名 もりねっと2名>

澤田 比布町の活動報告です。

- ・8月4・13・15・19・22・26日、10月16・17・18・21日
びびの路の崖のニセアカシヤの切り取り作業(桐・澤田)―延べ10日間
- ・11月6日 びびの路のヒグマ監視用カメラ(3台)を回収(役場篠原・澤田)
- ・11月11日 村上山公園口(びびの路)の情報ボックスの冬囲い(桐)

②主な活動写真



10月3日 大雪山山守隊活動見学



10月24日 現地検討会



10月27日 突哨山秋の間伐体験～森を元気にするお手伝い～



10月28日 山頂看板にメッセージ設置



10月30日 カタクリ広場草刈り



11月3日 芋煮会



記号 番号
19760 11381401

おなまえ トツショウザンウンエイキョウギカイ 様

おところ (郵便番号 074-8471)
北海道旭川市東山
2857-46
会 計 土藤 由紀子 様

副印鑑を
廃止しました

 ゆうちょ銀行

会 計 特定非営利活動法人もりねっと北海道
理 事 山本 敬 様

株式会社 ゆうちょ銀行 

通帳とお届け印とは、別々に保管してください。

通帳作成地 東京都千代田区霞が関 1-3-2
株式会社ゆうちょ銀行

印紙税申告納
付につき趣町
税務署承認済

11月12日 ゆうちょ銀行通帳の住所および登録印変更完了



11月17日 突哨山ボランティア遊歩道整備
扇の沢分岐「4番」の看板支柱を交換



11月17日 突哨山ボランティア遊歩道整備
「5番」のベンチを交換



11月17日 突哨山ボランティア遊歩道整備
頂上ルート入口2ヶ所及び頂上の案内看板、頂上標柱設置



11月24日 突哨山樹木調査



12月4日 道道鷹栖東鷹栖比布線意見交換会

③ヒグマ状況報告

別紙1 参照

山本 資料にマウンテンバイクが遊歩道を走っている写真があるが、同様に最近トレイルランが流行っている。山中を走っていると熊とばったり出くわす可能性があり危険。大会などは規制できるが、個人で練習している人を規制することは難しい。

④現地検討会実施報告

別紙2 参照

山本 昨年は熊と思われる食痕があったが、今年は確認されていません。

⑤2019年度間伐作業

今年度の人工林間伐対象は9ヶ所（人工林番号区分）。

対象面積は2ha（20,160㎡）です。

今回の間伐で2013年から行っている人工林間伐は一回りしたことになります。来年度からは初年度の対象林に戻り、さらに間伐を進めていく予定です。

詳細は別紙3 参照

山本 間伐対象の人工林で植林された針葉樹がびっしりある場所は積極的に間伐を行なって広葉樹の実生が発芽するのを助けるような伐り方をします。自然と混交林化が始まっている場所では広葉樹の成長を助けるために択伐のような伐り方をします。通常の木材生産型の間伐とは違うやり方をします。

澤田 びびの路のカラマツ伐採は何時頃の予定ですか？

中村 最後の連絡事項に今後の予定として掲載していますが、来年1月頃を予定しています。2年計画の2年目になります。

山本 再生観察路のあるトドマツ人工林エリアで比布町側は全く手付かずの状態にあります。半分とか3分の1程度は見本として残すが、アクセスしやすい場所なので体験間伐のフィールドとして使ってはどうかと考えています。具体的になったらまたご相談いたします。

⑥道道鷹栖東鷹栖比布線意見交換会

12月4日（水）に比布町役場において道道建設に向けての意見交換会が行われました。工事予定区域の環境調査の報告がありました。またおおよその線形についての説明がありました。今後は計画が進むにつれ、より具体的な工法などについて説明がなされる予定です。またこれに伴い、工事予定地に生息する貴重動植物の扱いについて検討していく必要があります。

詳細は別紙4参照

中村 意見交換会の議事録は後日配布いたします。

出羽 敷設予定地にあるカタクリやザリガニ、エゾサンショウウオに関しては移植という意見もありましたが、移植は簡単にやらない方がいい。できるだけ現地に対応して影響を少なくするというのが一つのポイントになると思います。

寺島 北見道路を作るときに同じような問題が起こっています。道路の長さが長かったので環境保全アセスメントの対象となりました。貴重種の移植を行って3年間追跡調査をしました。植物については8割が定着していました。エゾサンショウウオについては半減しましたが定着はしていました。ところが追跡調査は工事が終わってから3年間しかしなかった。その後行政の人たちが調査をしたところ移植したものはほとんど姿を消していたということです。移植によって保全を図るのは難しいと思います。それよりは道路を作りながら全体の環境を壊さない方策を考えた方がいいのではないかと個人的には感じます。

出羽 環境に配慮した道路づくりを進めているともっと宣伝した方がいいのではないかと。そうしないと道の（環境を保全するための）予算が取り辛いらしいです。

山本 道路作りにおいて環境配慮は揉め事の一つと捉えられ、できるだけ少ないコストで問題を解消したい。そうではなく、ここに関しては突哨山につながる大事な部分なので、ピンポイントではなく全体の流れを考えなくてはならない。走行速度が上がればロードキルも増える。環境道路として特化することも考えてほしいと提案しました。移植よりも環境の保全を考えた方がいいと思います。コンサルは理解しているが問題は予算にあるようです。

中村 意見交換会の中で、ここだけ特別に他の道道と違うということが明確ではないため予算も取りづらいという話がありました。長期的に考えて突哨山を何かしらの保護区として指定できるような動きが必要なのではないでし

ようか。

出羽 条令ではないが、北海道の自然環境指針で突哨山は身近な自然に指定されています。市民運動から自治体がいり取った経緯からむやみな開発は難しいと思いますが、油断はできません。

2. 連絡事項

- ・人工林間伐（12月）
- ・ぴぴの路 食害カラマツ伐採（1月）
- ・近二小1、2年生突哨山活動 カンジキ歩き・焚き火（1月）
- ・第3回協議会（3月中旬）

出羽 次回の協議会は3月16日（月）18時30分から職員会館とします。

以上